



# セキュアシェル：SFTP ユーザー名とパスワードの設定

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [SFTP ユーザー名とパスワードの設定 \(1 ページ\)](#)

## 概要

Secure File Transfer Protocol (SFTP) は、ネットワークセキュリティの重要なコンポーネントであり、ネットワークシステム全体でのセキュアなファイル転送の機能を確保します。

SFTP は、SSH プロトコルによって提供されるセキュリティフレームワークを活用することで、堅牢な暗号化および認証メカニズムでファイル操作の機能を拡張します。

セキュアなファイル交換のための SFTP 展開の重要な手順には、ユーザー名とパスワードの設定が含まれます。このプロセスにより、ユーザーが認証され、許可された個人だけがシスコデバイス上のファイルにアクセスおよび管理できる状態が確保されます。

このドキュメントは、シスコデバイスでのファイル転送を保護するために SFTP のユーザー名とパスワードを設定するプロセスを、ネットワーク管理者に順番に説明することを目的としています。

## SFTP ユーザー名とパスワードの設定

SFTP のユーザー名とパスワードを設定するには、次の手順を実行します。

### 手順の概要

1. `enable`
2. `configureterminal`
3. `ip sftpusername username`
4. `ip sftppassword encryption level {0| 7| LINE} password`
5. `exit`

## 手順の詳細

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>configureterminal</b> 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>ip sftpusernameusername</b> 例： Device(config)# ip sftp username cisco	ユーザー名を定義します。
ステップ 4	<b>ip sftppassword encryption level {0  7  LINE} password</b> 例： Device(config)# ip sftp password 0 cisco123	パスワードを定義します。暗号化レベルを指定します。 • 0：暗号化されないパスワード。 • 7：暗号化されるパスワード。 • Line：クリアテキストのパスワード。
ステップ 5	<b>exit</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。